

# 平成29年度決算に基づく

## 財政健全化判断指標の公表

平成29年度の決算報告と合わせ、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下、財政健全化法）に基づき、健全化判断指標を公表します。

くわしくは 財政課 財政係 ☎(21)5162

### 財政健全化法とは？

財政健全化法は、自治体の財政破綻を防ぐため、国が財政状況をより詳しく把握し、悪化した団体に対して早期に健全化を促すためのものです。

この法律では、自治体が財政破綻しないようにチェックするため、5つの目安（指標）が示されています。一つでも基準を達成しない場合は、早期に対応しなければなりません。



### 5つの目安（指標）とは

#### ①実質赤字比率

一般会計を中心とした普通会計が赤字になった場合の、収入に対する赤字の割合です。

#### ②連結実質赤字比率

国民健康保険事業特別会計や下水道事業特別会計などを加えた全ての会計の合計が赤字になった場合の、収入に対する赤字の割合です。

#### ③実質公債費比率

収入のうちどのくらいを借金の返済に充てているかを表した割合です。

#### ④将来負担比率

収入に対する実質的な借金残高（これから返済しなければならない借金）の割合で、借金残高から貯金を引いた残りの額が年間収入の何%になるかを表した数値です。

#### ⑤資金不足比率

水道事業会計などの企業会計が赤字の場合の、事業規模に対する赤字の割合です。

### 各指標の市の数値

左下の表のとおり、平成29年度決算において、③は5・6%で昨年度と同じ比率でした。これは合併特例事業債や臨時財政対策債など、地方交付税で補填される割合が大きい有利な地方債を活用することで実際の返済負担が軽減されている一方で、借金残高そのものが増えているため元利償還金の額が増加したことが主な理由です。

また、④は58・9%で前年度より4・4ポイント増加しており、前年度と比べて市の将来的な負担が増えていることを示しています。これは、合併特例事業債や緊急防災・減災事業債など地方交付税で補填される額が増えている反面、本庁舎をはじめ日光庁舎、藤原庁舎などの建設事業の実施に伴い、地方債残高が増えたことによるものです。これらの③、④の数値を家計に例えると、年収の5・6%を借金の返済に充てています。また、将来的に返

表：平成29年度市の指標一覧

5つの目安	市の数値 (前年度比)	早期の対応が必要となる基準
①実質赤字比率	—	12.12%以上
②連結実質赤字比率	—	17.12%以上
③実質公債費比率	5.6% (±0.0ポイント)	25.0%以上
④将来負担比率	58.9% (+4.4ポイント)	350.0%以上
⑤資金不足比率	—	20.0%以上

済しなければならぬ借金残高が、年収の58・9%ということとなります。なお、①、②、⑤については、各会計とも黒字のため表示していません。財政健全化法の基準で見ると、市は早期に健全化のための対応を必要とする状況にはなっていません。しかし、地方交付税に依存していることや借金残高が多いことなど、財政状況が厳しいことには変わりはありません。今後も財政の健全化を図っていきます。



# 糖尿病の発症と重症化を予防しましょう!

くわしくは 健康課 ☎21-2756

糖尿病は、血液中にブドウ糖があふれてしまう病気です。高血糖の状態が慢性的に続いたり、運動不足や食べ過ぎが原因で肥満になったりすると、血糖をコントロールするインスリンの分泌量や働きが低下し、糖尿病を発症します。

糖尿病は自覚症状がほとんどなく、進行すると、のどの渇き・多飲多尿・体重減少などの症状がみられます。重症化により全身の血管が傷んでしまい、さまざまな合併症を引き起こします。

## 📌 ご存じですか？ 糖尿病の三大合併症！



### 【合併症その1】糖尿病網膜症

網膜は両眼の最も内側にある膜で、ものを見る細胞(視細胞)や毛細血管がたくさんあります。糖尿病による高血糖が慢性的に続くと、網膜の毛細血管が傷つき、破れて出血しやすくなります。その結果、視力が低下したり、突然目が見えなくなったりしてしまいます。進行すると、失明の原因にもなります。

### 【合併症その2】糖尿病神経障害

手足の神経に障害が起こり、痛み・しびれ・知覚低下を感じるようになります。また、痛みを感じにくくなっているので、ちょっとした足の傷ややけどに気付かず、<sup>えそ</sup>壊疽になって足を切断することもあります。

### 【合併症その3】糖尿病腎症

腎臓は血液をろ過して、不要な老廃物を尿として<sup>はいせつ</sup>排泄する臓器です。糖尿病腎症になると、ろ過の働きをしている腎臓の毛細血管が傷つき、ろ過の働きが低下します。進行すると、厳しい食事制限が必要になり、人工透析が必要になる場合もあります。

## 📌 糖尿病の発症および重症化予防には生活習慣の改善が大切です

食事の見直しや運動習慣で肥満が改善され、糖尿病の予防につながります。

### 食事

- ・食事は3食決まった時間に食べる
- ・腹八分目を心掛け、間食を控える
- ・夕食後から就寝前にカロリーのある飲食をしない
- ・野菜、きのこ、海藻などの食物繊維を多くとる



### 運動

- ・1日30分以上、週3回以上の運動
- ・有酸素運動(ウォーキングなど)がお勧め
- ・食後の運動が高血糖予防に効果的
- ・肩甲骨周囲の筋肉を動かすと代謝アップ!



## 📌 定期的に健診(特定健診・職場の健診など)や医療機関を受診し、糖尿病検査を受けましょう

糖尿病検査(空腹時血糖値、HbA1c)を受けることで、血糖コントロール状況を把握できます。

既に糖尿病の治療を受けている方は、主治医の指示のもと治療を継続することが大切です。

糖尿病検査と基準値	空腹時血糖値 (朝食を抜いた時の値)	HbA1c (過去1~2カ月の血糖値の状態)
糖尿病予備群の目安	100mg/dl 以上	5.6%以上
糖尿病域の目安	126mg/dl 以上	6.5%以上